

日銀短観(12月調査)予測

～内外経済の調整深刻化を背景に、企業マインドが急速に悪化～

<業況判断DI>

- (1) 日銀短観12月調査は、内外経済の調整深刻化を背景に、企業マインドが急速に悪化していることを示す内容となる見込み。具体的には、9月半ば以降の世界的な金融不安の深刻化を背景に、世界経済の減速が明確化。わが国においても、①欧米向け輸出の減少および新興国・資源国向け輸出の増勢鈍化、②株価の大幅下落や円高の進行、③所得・雇用環境の悪化を背景とした家計の購買力低下、などが企業マインドの悪化に作用。全規模・全産業ベースの業況判断DIは、前回調査対比▲14ポイントと大幅に悪化する見込み。
- (2) 規模別・業種別にみると、大企業製造業は、輸出の減少や円高の進行の影響を大きく受ける加工業種を中心に、企業マインドが大幅に悪化。業況判断DIは前回調査対比▲20ポイントと、1980年以降で最大の悪化幅となる見込み(水準で見ると▲23%ポイント)。大企業非製造業についても、個人消費の低迷などを受け、同▲8ポイントの悪化を予想。
- (3) また、中小企業では、建設・不動産業の低迷持続や、信用不安の高まりを背景とした資金繰りの悪化懸念などから、全産業ベースで前回調査対比▲15ポイントの悪化となる見込み。
- (4) 来年3月を想定した先行き見通しDIは、全規模全産業で▲33%ポイントと▲5ポイントの低下を予想。資源価格の下落による企業収益の押し上げ効果が期待されるものの、①欧米景気の低迷持続、②新興国・資源国の成長鈍化、②それらを受けた国内景気後退局面の長期化などが見込まれるなかで、先行きに対しても慎重な見方が示される見通し。

(図表1)業況判断DIの予測

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

| | | 6月 | 9月 | 12月 | 12月 | 先行き |
|------|------|------|-----|---------|----------|-----|
| | | (実績) | | (前回見通し) | (今回当社予測) | |
| 製造業 | 大企業 | 5 | ▲3 | ▲4 | ▲23 | ▲25 |
| | 中堅企業 | ▲2 | ▲8 | ▲12 | ▲30 | ▲37 |
| | 中小企業 | ▲10 | ▲17 | ▲25 | ▲37 | ▲48 |
| | 全規模 | ▲3 | ▲11 | ▲16 | ▲31 | ▲38 |
| 非製造業 | 大企業 | 10 | 1 | ▲1 | ▲7 | ▲9 |
| | 中堅企業 | ▲5 | ▲12 | ▲17 | ▲21 | ▲24 |
| | 中小企業 | ▲20 | ▲24 | ▲31 | ▲35 | ▲38 |
| | 全規模 | ▲10 | ▲16 | ▲22 | ▲26 | ▲29 |
| 全産業 | 大企業 | 7 | 0 | ▲2 | ▲15 | ▲17 |
| | 中堅企業 | ▲4 | ▲10 | ▲15 | ▲25 | ▲29 |
| | 中小企業 | ▲16 | ▲21 | ▲29 | ▲36 | ▲41 |
| | 全規模 | ▲7 | ▲14 | ▲12 | ▲28 | ▲33 |

<設備投資計画>

- (1) 2008年度の設備投資計画（土地を含みソフトウェアを除く）は、全規模全産業ベースで前年度比▲3.7%と予想。内外需の落ち込みによる企業収益の悪化を受け、設備投資マインドが一段と慎重化し、前回調査対比▲2.5%の下方修正となる見込み。
- (2) 大企業製造業についてみると、欧米景気の悪化に加え、これまで堅調を維持してきた新興国・資源国景気の減速懸念などを受け、需要見通しが大幅に低下。設備投資に対する慎重姿勢が一段と強まる結果、加工業種を中心に下期計画が大幅に下振れる公算。2008年度の設備投資計画は前年度比▲2.0%（前回調査対比▲7.2%の下方修正）となり、12月時点の計画としては2002年以来の前年度割れとなる見通し。
- (3) 先行きを展望すると、内外景気が回復に転じるまでには時間を要するとみられるなか、今後の上積みは期待できず、2008年度の最終的な伸び率は、2001、02年度と並ぶ大幅マイナスとなる公算。

(図表2) 設備投資計画の予測

| | | 2008年9月短観 | | 2008年12月短観 | | <参考> | |
|------|-----------|----------------|----------------|----------------|---------------|--------------|-------------|
| | | 前年度比 | | 当社予測 | 9月対比 | 2007年12月短観 | |
| | | 2007年度 (実績) | 2008年度 (計画) | 2008年度 (計画) | 修正率 2008年度 | 07年度 (計画) | 9月対比 修正率 |
| 大企業 | 製造業 (25) | 4.6 | 5.6 | ▲2.0 | ▲7.2 | 10.8 | ▲1.1 |
| | 非製造業 (43) | 5.0 | ▲0.7 | ▲2.1 | ▲1.4 | 10.2 | 3.3 |
| | 全産業 (68) | 4.9 | 1.7 | ▲2.0 | ▲3.6 | 10.5 | 1.7 |
| 中堅企業 | 製造業 (5) | 1.4 | 0.5 | ▲3.1 | ▲3.7 | 4.1 | 0.0 |
| | 非製造業 (10) | ▲1.1 | ▲3.0 | ▲3.2 | ▲0.2 | 3.3 | ▲1.8 |
| | 全産業 (15) | ▲0.3 | ▲1.9 | ▲3.2 | ▲1.3 | 3.6 | ▲1.2 |
| 中小企業 | 製造業 (5) | ▲3.5 | ▲7.2 | ▲8.9 | ▲1.8 | ▲7.6 | 6.9 |
| | 非製造業 (11) | 5.1 | ▲15.7 | ▲12.4 | 3.9 | ▲2.9 | 6.6 |
| | 全産業 (16) | 2.1 | ▲12.9 | ▲11.3 | 1.9 | ▲4.6 | 6.7 |
| 全規模 | 製造業 (36) | 2.9 | 3.0 | ▲3.2 | ▲6.0 | 6.9 | 0.1 |
| | 非製造業 (64) | 4.0 | ▲3.6 | ▲4.0 | ▲0.4 | 6.8 | 2.9 |
| | 全産業 (100) | 3.6 | ▲1.3 | ▲3.7 | ▲2.5 | 6.8 | 1.9 |

(注1) 土地を含み、ソフトウェアを除くベース。

(注2) カッコ内の数値は2007年度の全規模全産業投資額に占めるウエイト(百分比)。

(図表3) 設備投資計画の修正状況
(前年度比、全規模全産業ベース)

